入試年度	2027 年度	入試時期	Ⅰ期入学試験	実施日	2026 年 9 月 25 日
課程	博士前期課程	研究科	国際日本学研究科	専攻・コース	国際日本学専攻 文化・思想研究領域
入試方式	一般・外国人留学生		試験科目	専門科目	

「出題の意図」および「解答」または「解答例」

【出題の意図】

大学院で研究を遂行するにあたって必要となる基礎知識をもっているかどうか、また、研究課題の所在を明らかにし、それに対する自分の考えを論述する力があるかどうかを問う問題。

【解答例（採点時の観点）】

Ⅰ.論述問題

（1） 昭和期の大衆音楽をメディアという観点から幅広く捉えられるかを問うている。昭和期という長い期間とその間に現れた多様な音楽ジャンルについてある程度俯瞰的に把握できているか、20 世紀の複製技術やマスメディアといかなるような関係性を持っていたかを意識しているか、複数の異なるジャンルに関する具体例を提示できるかどうかを確認するもの。

（2） 現代日本の大衆音楽を「宗教的な要素」というキーワードから複眼的に論じられるかを問うている。ポピュラー音楽において宗教的な側面を見出せる諸現象（アイドル文化、推し活現象、現代の盆踊りなど）について、網羅的な記述ではなく、適切な具体例を提示しながら論述できるかどうかを確認するもの。

Ⅱ.用語解説

（1） 「四畳半フォーク」という名称の由来とその時代背景、音楽史におけるフォークの歌謡曲化についての見識を確認するもの。

（2） ティン・パン・アレーの前身にあたる「キャラメル・ママ」のメンバーとその主な活動内容、ニュー・ミュージックの中での位置づけについての見識を確認するもの。

（3） 「ビッグ・イン・ジャパン」という昭和期の音楽誌を通して広まった言葉について、知名度の差に内包される力学関係や元来とは異なる文脈で起こりうる音楽受容についての見識を確認するもの。

（4） 梵唄に源を発し、歌謡・語りもの・踊りといった世俗の娯楽要素と結びついた「祭文音頭」の成立経緯、のちの江州音頭との関係についての見識を確認するもの。

（5） 会員制のアングラ・レコード・クラブが手がけた「URC レコード」の意義と当時の商業音楽の産業構造についての見識を確認するもの。

（6） アイドル歌謡全盛期の音楽同人誌『よい子の歌謡曲』の概要とポピュラー音楽の同人文化についての見識を確認するもの。

合否判定の方法及び基準

入学試験は国際日本学研究科のアドミッションポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施しています。

合否判定については、本研究科のアドミッションポリシーを満たすことを、総合的な視点により合否を判断しております。